

館報 No103 町民のひろば

公民館とは ①自由なたまり場 ②学習の場 ③集団活動の拠点 ④文化創造の拠点

御代田町公民館 北佐久郡御代田町大字馬瀬口1901番地1 エコールみよた内 ☎0267 (32) 2770 Fax 0267 (32) 8923

令和3年度の公民館事業も早いもので上半期が経過しました。未だに新型コロナウイルスの収束が見通せないなかではありますが、感染予防対策を講じて、公民館グループ活動、青少年健全育成事業など、多くの事業が実施できました。

一日も早い新型コロナウイルスの収束を願いつつ、公民館の役割である参加しやすい「学びの場」となるよう、創意工夫とリスクを最小限に抑えて事業展開したいと考えております。

町民の皆様のご理解・ご協力をお願いします。

公民館長 清水 成信

合唱団つばさ

令和3年度上半期公民館事業



合唱団つばさは、指揮の内田満先生、ピアノの黛明子先生によるご指導のもと、練習しています。練習日には「3時のつばさ」という10分程度のミニコンサートを開催しています。ぜひ聴きにいらしてください。



今後は3月に開催する「つばさコンサート」に向けて練習に励みます。その経過は「3時のつばさ」で披露していきます。

団員募集中!

一緒に活動してくれる仲間を募集しています。気軽に見学にお越しください。

- 練習日…基本的に第1・2・4土曜日/午後2時~4時
- 対象…小学1年生~中学3年生
(御代田町に住所がなくても入団できます。)
- 年会費…2,000円

子ども生け花教室



今年度の子ども生け花教室は田村征子先生、大井真由美先生ご指導のもと、新規5名、継続13名の計18名でスタートしました。毎月第2・4土曜日に開催している教室では、花の生け方だけでなく季節の花の名前や、花言葉も一緒に学んでいます。また今年度から、お稽古の成果を発表する場として、エコールみよたの事務室前に毎回2名の作品を展示しています。季節の花を使った個性あふれる、子どもたちの作品をぜひご覧ください。

>> Vol.22 町長コラム

このコーナーでは毎月、小園町長が町民の皆さんに届けたいメッセージを綴ります。

速さは質でもある、ということ

歯医者さんなど技術を提供する仕事に接すると、ある種の共通項があるような気がしてなりません。それは、速い仕事こそがよい仕事だ、ということです。

なぜかと考えてみると、短時間で仕上げることを意識することで、自然と集中力が高まるからではないか、という仮説に思い当たりました。逆に時間をかけて丁寧に、は時として集中を欠いた半端な仕事になってしまい、遅い上に雑な仕事になってしまうのかもしれない。

町の仕事に置き換えてみると、コロナワクチン接種に関してはまさに、速さこそが質であったと考えています。仮に、遅かったけど丁寧にやりました、となった場合、集団免疫の早期獲得という目標は達成できません。保健福祉課は、正確性を犠牲にしないギリギリのところ、できるだけ早いタイミングで接種を進めるように日夜努力してくれて、同規模以上の自治体の中でもきわめて早い接種を進めてくれました。もちろん、町内すべての医療機関が協力していただき(実はこれも全国を見渡すと当たり前のことではありません)、町民の皆さんが時間通りの来場を心がけていただけて成り立ったことは大前提です。町民全体で接種の「早さ」を勝ち取った好事例だと言えます。

私は町民の皆さんに言葉を発することが仕事の大きな柱ですが、文章を書き上げるまでにかかった時間と言葉の良さ、伝わりやすさはほとんど比例しないと感じています。むしろ、スパッと一気に書き上げられたもののほうが、あとで評価していただけることが多いように思います。

仕事の評価はかけた時間により行うものではなく、どんな結果をもたらしたかによって行うもの。役場の中では意外と見過ごされがちな原則ですが、肝に銘じたいと思います。

Shin ri shi Vol.10 「チームみよた!?!」

心理師 岡本直人

Oka moto Nao to



北小PTAのみなさん、ありがとうございます!

町の心理師、岡本です。

ここ最近、心理師のお仕事についてお話させていただく機会がまたありました。去年は町役場や町のNPO法人、学校(先生向け)などでお話させていただき、今年は民生委員の皆さんや東信地区のスクールソーシャルワーカーの皆さんに対して、さらにPTA講演会でもお話する機会を頂戴しました。とてもありがたいです。

私は元々、精神科病院の心理師として働いていましたが、病院では「チーム医療」という考えのもと、多職種が協働・連携することが当たり前でした。医師、看護師、作業療法士、精神保健福祉士、薬剤師などが、それぞれの専門性を活かして治療にあたるのです。

近年、この「チーム〇〇」は学校現場にも取り入れられ、「チーム学校」という言葉も出てきました。もはや教育に関する課題は家庭や学校だけでなく、色々な人たちも加えて皆で支援していこうということなのかもしれません(それぐらい大変である...)

この「チーム学校」に関する具体的な方法として、「支援会議(あるいは教育相談や懇談会)」があります。これは子どもの保護者や担任の先生だけでなく、関係する支援者を集めての作戦会議のようなものです。実はこの「支援会議」、昨年度の心理師業務数のNo.1でした。このように、チームで関わることは一部の子どもや家庭に対してではなく、より一般的になってきているということがわかります。これは御代田町のカッコいいところだと、個人的には思っています。

そうは言っても、町の心理師はまだまだ得体の知らない&試行錯誤真っ最中の職業ですので、引き続き、皆さまからの意見やニーズなどを教えていただければ幸いです。例えば「試験やスポーツ、はたまた恋愛にも使える心理学的テクニック!?!」とか、「自分の心をちょっとのぞいてみよう、初めての心理検査体験!」とか…。岡本のユニークな活用法、求ム!

問い合わせ先 教育委員会学校教育係 (32)9100